

令和 5 年 5 月 26 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名・・・医療法人 仁風会 雲陽の里

サービス種類・・・認知症対応型共同生活介護事業所

会議開催日・・・令和 5 年 5 月 9 日

開催場所・・・地域活動支援センター ビ・フ렌ディング

出席者

事業所	1 人	利用者	人
利用者家族		地域代表者	4 人
松江市職員		包括支援センター	1 人
知見を有する者		その他 ()	人

活動状況報告

1) 入所状況について

・新たに入所 3 名、いずれも要介護 2 で女性、80 代 2 名、90 代 1 名。

2) 生活状況・活動報告

◎3/28 に外部評価の調査を受けた。

◎病院受診については感染予防対策をしながら対応継続中。

◎4/21 新人研修、対象者 2 名あり参加

◎感染予防対策の変更について、濃厚接触者としての待機はなし、陰性を確認しながら勤務。

コロナ陽性の際は 10 日間の療養。

3) ・インシデント (12 件) : 内容と対策について報告。

新しく入所された方についての報告が 9 件と目立っている。

4) 身体拘束について

・該当する事案はない

意見交換

職) コロナが 5 類移行となり対応が緩和されてきているが面会についてどこまで緩めていいか検討中、他の施設での対応の様子はどうなっているのか。

包) 部屋にはいる事はできないが健康観察をしてマスク着用で会える施設は増えている。

地) 在宅で徘徊のある方の対応に家族が困っている。デイサービスの迎えまで家族が待てずに仕事に出ると、外に出てわからなくなってしまう。

包) 見守りネットワークに登録したり地域に隠さず理解してもらおうほうがいいと思う。

職) 施設でも新しく入所された方の内 2 名は外に出ようとされる事が多く、職員が手薄になる時間帯の対応が大変になっている。何か気がまぎれる事を提供できるといいと思うが、日が浅く手探り状態。

地) 日中は何をしておごされるのか。

職) 午前中は洗濯物やレク活動で、午後からはフリーで個別に対応したりしている。

地) 何もすることがないと居ても仕方がないと思う、今日はあれをしようというような用事があったり、ストレス発散になる事があればいいのでは。

地) 手足の運動だけでなく、同時に頭を使うような運動も取り入れるほうがいいのでは。

地) 人と話をする事も大事。

地) 入所の方が何をしたいのか理解する事が大事。

職) その通りだと思う。いただいたご意見を参考にしながら対応を考えていきたいと思う。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価をうけることができたか	
☐ 要望・助言等を受ける機会を設けたか	